

『 GR86/BRZ Cup Technical Information Vol.5 』

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

『TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Cup』に於ける『GR86/BRZ Cup Technical Information』として、技術情報/規則に関する補足説明をお知らせします。

【オイルクーラーブラケットキット 15071-ZN810】

本年度開幕戦より使用していただいている本製品の組付方法の再確認をお願いします。

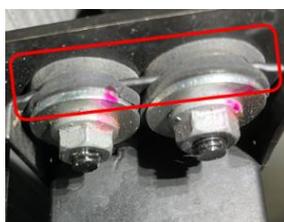
手順通りの取り付けが行われていない場合、オイルクーラーが変形・破損し、最悪の場合オイルが漏れる恐れがあります。

■ 確認事項

(1) ラバースパースー部のナットを締め過ぎていないか確認と修正

該当部の、規定締付トルクは2±1Nm、および、ネジロック塗布が必要です。確認をお願いいたします。

注：過度な締付けにより、オイルクーラーの締結部（板部）を変形させてしまう場合や、過剰にゴムを潰してしまうことで、防振効果が下がる可能性があります。



×：ゴム部が潰れてはみ出している



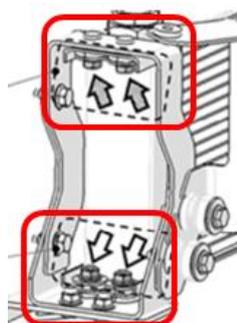
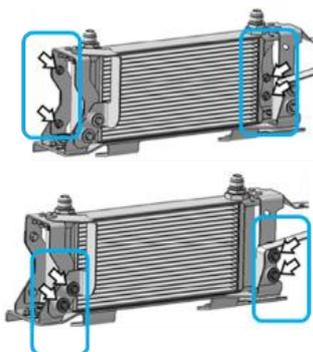
○：適正トルクでの締付状態

POINT：

ラバーワッシャーは変形しやすいので、規定トルクでの締付は、1回のみで実施してください。

(2) メンテナンス時においても組付順序は取扱書に記載の手順で実施しているか確認と修正

メンテナンスにて、ラバースパースー部の緩みを確認する場合は、ブラケット NO.2 (15781-ZN840/850) とブラケット NO.3 (15781-ZN860/870) を締結するボルト8本を緩め上下のブラケットをフリーの状態にしてから、ラバースパースー部の緩みを確認してください。



POINT：

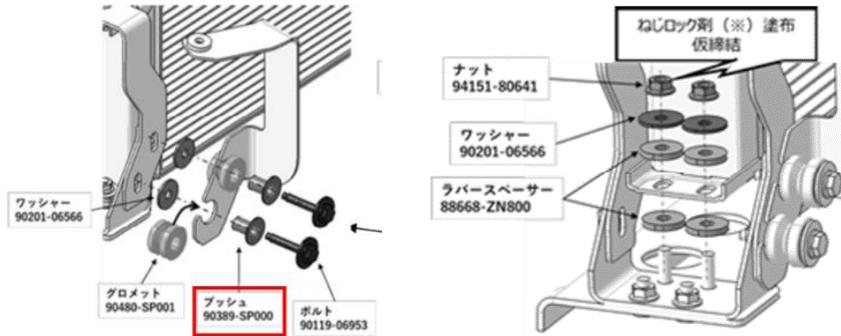
上下のブラケットを固定したままラバーワッシャーを締めつけると、オイルクーラーの締結部（特に上側の板部）には、上向きに曲がる力が加わり、オイルクーラーに亀裂が入りやすくなります。  
※最悪の場合オイルが漏れる恐れがあります。

- ・ 図青枠のボルト8本を緩めフリーにする
- ・ ラバースパースー部（図赤枠内）の確認を行なう



(3) グロメット・ブッシュ・ラバーワッシャなどの向き/位置が正しいか確認と修正

注：正しい向き・位置に取り付いていないと防振効果が下がる可能性があります。  
部品構成の詳細は、取扱書をご確認ください。



(4) 車両部品（バンパーラインフォースやラジエタサポートLWR）の破損や著しい変形の確認

メンテナンスの際は確認と、必要に応じて交換/修理をお願いします。

注：破損や変形がある状態で使用を続けると、オイルクーラーやブラケットに無理な力が掛かってしまう可能性があります。

(5) オイルクーラーコアの変形や亀裂等の確認

注：2022年から継続使用しているオイルクーラーは、締結部（コアの上側板部）に負担が掛かっていた可能性がある為、強度が低下し、締結部の変形や、微小な亀裂が入っている場合がありますので、パンパー越しの目視点検でも構いませんので、確認と点検をお願いします。

変形や、亀裂が入ったまま継続使用されますと、サーキットでの走行負荷や、縁石の乗り上げ、脱輪等による振動によって亀裂が進展し、最悪の場合オイルが漏れる恐れがありますので、早期の交換を推奨いたします。

【本リリースに関する問合せ先】

TRD コールセンター Tel: 050-3161-2121

